

Change the 卸 *Future*
未来への変革

株主の皆さまへ

第111期

株主通信

事業活動の中間ご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

目次

ごあいさつ	1
社長メッセージ	2
連結業績ハイライト	4
セグメント別業績	5
クローズアップ	7
会社概要.....	9
株式の状況	10

株式会社 メディパルホールディングス

証券コード7459

流通価値の創造を通じて 人々の健康と社会の発展に貢献します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

ここに、株主通信(第111期事業活動の中間ご報告)をお届けするにあたりまして、日ごろの温かいご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

このたびの一連の台風により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

メディパルグループは、人々の生活に欠かすことのできない医薬品や日用品の流通を支える企業グループとして、いついかなるときも、商品の安定供給と流通価値の創造により社会に貢献してまいります。

2019年12月

代表取締役社長

渡辺 秀一



「2022メディパル中期ビジョン」に沿った取組みを推進

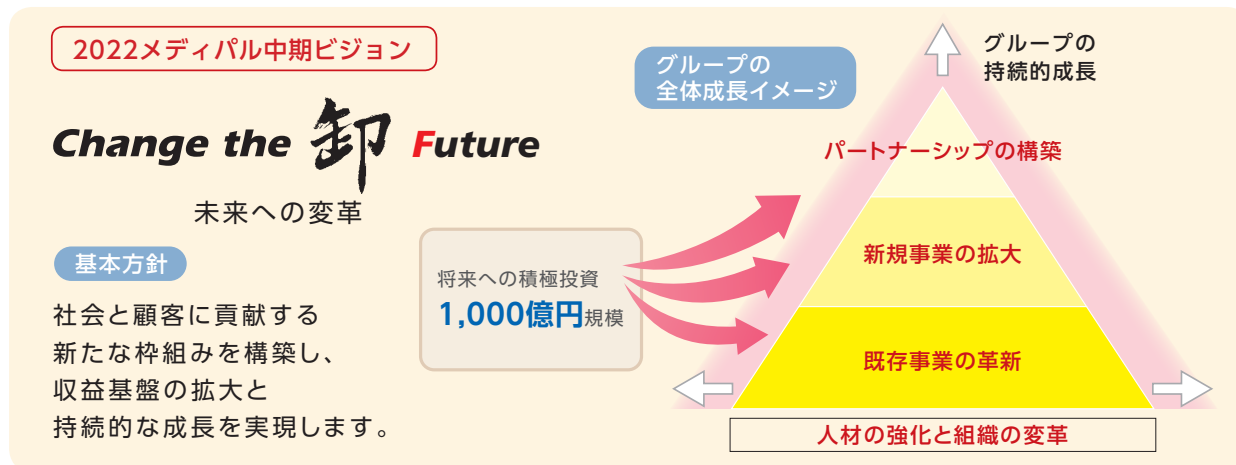
当社グループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、社会環境の変化を見据えたビジョン「2022メディパル中期ビジョン **Change the 卸 Future** - 未来への変革」を新たに策定し、2019年5月に発表いたしました。

2019年4月から9月は、この中期ビジョンに沿った取組みを推進いたしました。

医療用医薬品等卸売事業では、物流機能として、高品質・高機能かつ災害対策を施したALC*・FLC*の全国展開を進めており、2019年6月には「関東ALC」(埼玉県加須市)が順調に稼働しております。

営業機能は、MR*認定試験合格者(AR*)が国内最大規模の約2,300名となり、高い専門知識とスキルを活かした情報提供活動を行っております。新規事業は、AR、PFM**、PMS*の各取組みを通じて事業規模の拡大に努めております。パートナーシップの構築は、2019年8月に、三菱倉庫株式会社(東京都中央区)と業務提携契約を締結し、同社の医薬品専門運送子会社であるDPネットワーク株式会社へ出資いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業では、より一層の物流生産性向上に取り組んでおり、AI(人工知能)やロボットを導入した最新鋭大型物流センター「RDC*埼玉」(埼玉県北葛飾郡杉戸町)が2019年11月に稼働しております。



当中間期の経営成績

当中間期における経営成績は、売上高1兆6,548億46百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益279億47百万円(前年同期比20.9%増)、経常利益347億89百万円(前年同期比19.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は165億67百万円(前年同期比7.0%増)となりました。中間期の業績としては、売上・利益ともに、過去最高実績を更新することができました。

自己株式の取得

当社は、2019年7月31日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けの方法により、自己株式12,500,018株を281億円で取得いたしました。

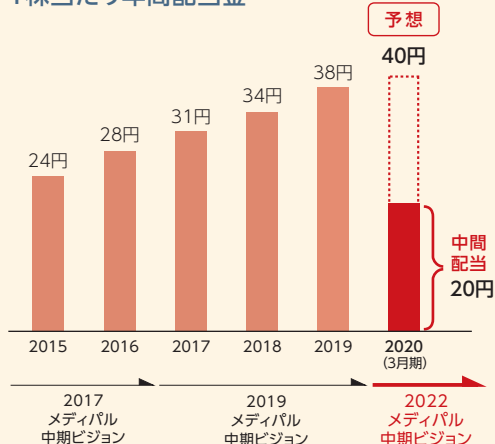
配当のご案内

2020年3月期

中間配当金 1株当たり20円

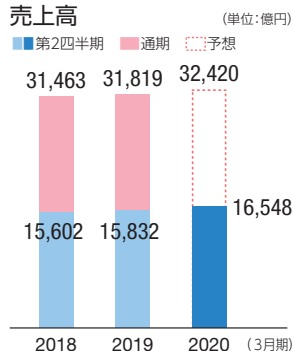
当社は、株主の皆さまに対する利益配分を経営の最重要課題のひとつと位置付けており、2022年3月期までに連結配当性向30%を目安に安定配当を継続することを基本方針としています。2020年3月期の中間配当金は、財務状況等を勘案して、1株当たり20円といたしました。年間配当金は40円を予定しております。

1株当たり年間配当金

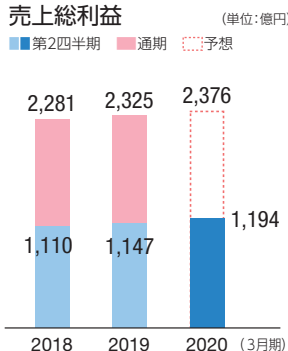


連結業績ハイライト (2020年3月期 第2四半期)

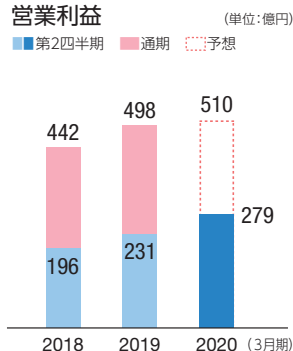
売上高



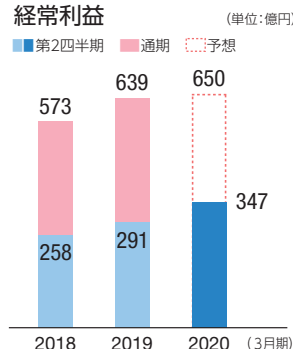
売上総利益



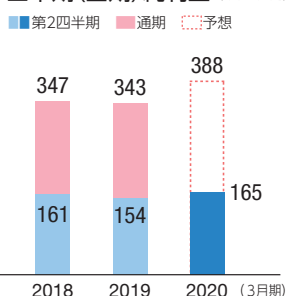
営業利益



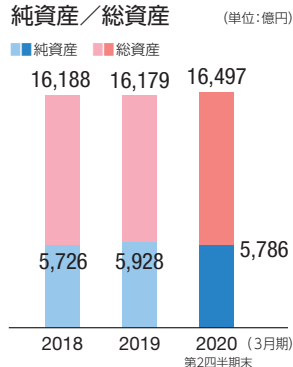
経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



純資産／総資産



売上高

1兆6,548億円

営業利益

279億円

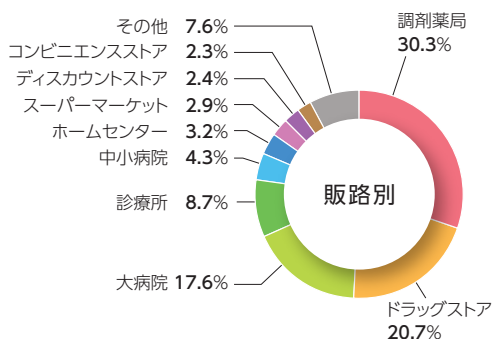
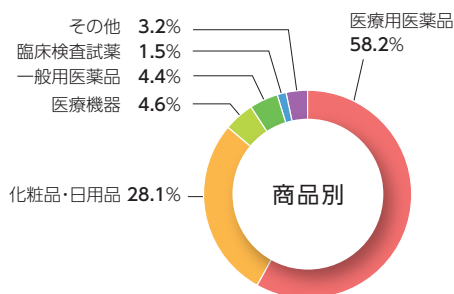
経常利益

347億円

親会社株主に帰属する 四半期純利益

165億円

売上高の内訳



最新の 決算説明会動画 をご覧ください

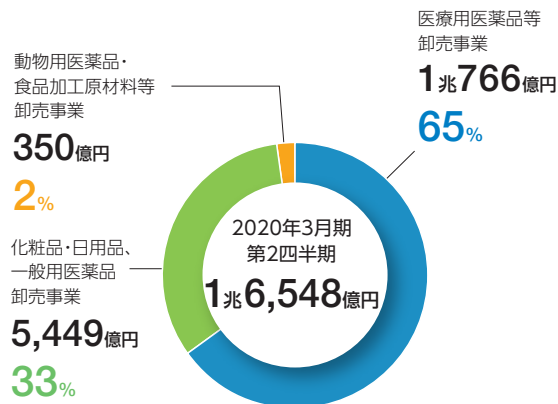
こちらのQRコードから
アクセスしてください。



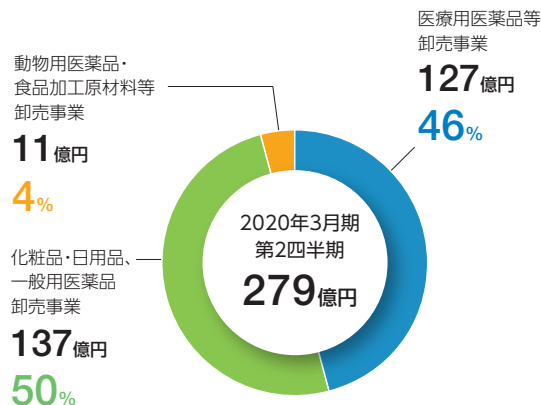
https://www.medipal.co.jp/ir/event/pctabphone_20191101.html

セグメント別業績 (2020年3月期 第2四半期)

売上高構成比



営業利益構成比



※連結消去の数字を除いて表示しているため、合計金額は一致しません。

医療用医薬品等卸売事業

売上高

1兆766億円 前年同期比 4.5%増

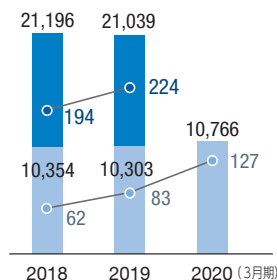
営業利益

127億円 前年同期比 53.7%増



(単位:億円)

■ 通期売上高 ■ 通期営業利益
■ 第2四半期売上高 ■ 第2四半期営業利益



2019年10月1日に実施された薬価改定前の買い控えの影響があったものの、抗がん剤をはじめとする新薬が伸長したことや消費税率の引上げに伴う駆け込み需要などにより、売上は堅調に推移いたしました。このような環境の中、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るため、卸機能を最大限に発揮するための様々な取組みを行いました。

- 高品質・高機能かつ災害対策を施したALC・FLCの全国展開。
2019年6月に「関東ALC」が新たに稼働。
- 超低温を含めた全温度帯に対応できる物流プラットフォームの構築。
- AR、PFM®、PMSなどの新規事業が収益に貢献。
- デジタルヘルスケア分野での新たな取組み。
メディカル・データ・ビジョン株式会社と、その子会社である株式会社 Doctorbookとの協業により、医療従事者へ最先端の医療情報を提供など。

- | | | |
|--------------|------------------|----------------|
| ● (株) メディセオ | ● (株) アステック | ● (株) エム・アイ・シー |
| ● (株) エバルス | ● (株) MVC | ● (株) トリム |
| ● (株) アトル | ● メディエ (株) | |
| ● SPLine (株) | ● (株) MMコーポレーション | |

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

売上高

5,449 億円 前年同期比 4.4 %増

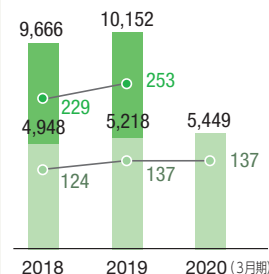
営業利益

137 億円 前年同期比 0.3 %増



(単位:億円)

■ 通期売上高 ● 通期営業利益
■ 第2四半期売上高 ● 第2四半期営業利益



気候要因による季節商品の不調や、インバウンド需要の環境変化による影響を受けたものの、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要が見受けられたほか、女性の社会進出など、生活スタイルの変化にあわせた付加価値商品は依然として堅調に推移いたしました。このような環境の中、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人手不足の環境下でも成長できるよう、サプライチェーン全体を視野に入れた効率化に向けて、生産性が高く、働く人に優しい物流センターへの投資を進めるなど、事業基盤の強化を推進しました。

- 首都圏での出荷能力増強、及び飛躍的な生産性向上を目的に、AI・ロボット等を活用した新物流モデルを採用した「RDC埼玉」の稼働。(2019年11月稼働)
- 「RDC埼玉」稼働に伴う、首都圏における最適出荷体制の構築と経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため「RDC東京」の売却を決定。

● (株)PALTAC

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

売上高

350 億円 前年同期比 6.6 %増

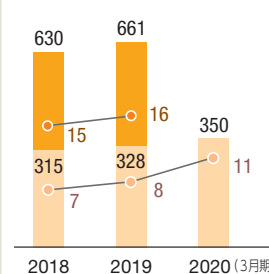
営業利益

11 億円 前年同期比 35.5 %増



(単位:億円)

■ 通期売上高 ● 通期営業利益
■ 第2四半期売上高 ● 第2四半期営業利益



動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業の販売は順調に推移しました。

動物用医薬品

- 畜産向け市場においてワクチンや飼料添加物を積極的に販売。
- コンパニオンアニマル*向け市場において独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+ (エムピープラス)」の利用拡大や自社企画品の販売を推進。

食品加工原材料

- 提案営業の推進により新規取引が拡大。

● MPアグロ (株)

● メディパルフーズ (株)

*コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人より密接な関係を保つような動物を指しています。

メディセオ、「関東ALC」を稼働

安全・安心・ローコストを追求した新しい流通体制の構築

関東ALCは、旧埼玉物流センターの建屋を活かし、マテハン機器・設備などにおいて、新しい価値を生み出すための「リノベーション」を実施いたしました。独自のマテハン技術と情報システムにより、正確な在庫管理と効率的な倉庫内作業、配送作業を行い、信頼性と生産性を高めています。自動化による新たな物流機能を導入した次世代型のALCを通じて、お客様の業務効率の向上に貢献できる物流サービスをローコストで提供します。



関東ALCの概要 (2019年6月稼働)

所在地	埼玉県加須市
敷地面積	15,968m ² (約4,830坪)
年間出荷能力	2,300億円
総投資額	80億円



ユニシャトル
(入出庫能力を持つ)
自動倉庫システム



クロスベルトソーター
(お客様別高速仕分け装置)



パラレルリンクロボット
(自動トレー積み付け機械)

PALTAC、「RDC埼玉」を稼働

生産性の高い新物流モデルを最大規模で展開

RDC埼玉は、国内最大市場である首都圏の業容拡大に対応する出荷能力拡大、及び労働人口減少に伴う人手不足に対応し得る大幅な生産性向上を目的に開設しました。AI・ロボットなどを活用した自動化をさらに推進することにより、人に優しく、かつ人手不足の環境下でも安定出荷を可能とする物流センターの実現をめざしております。



RDC埼玉の概要 (2019年11月稼働)

所在地	埼玉県北葛飾郡杉戸町
敷地面積	66,620m ² (約20,153坪)
年間出荷能力	1,200億円
総投資額	230億円



AIピースピッキングロボット
(商品保管用トレーからの)
ピッキング機械



AIケースローディングロボット
(ケース出荷時の)
積み付け機械



AIケースピッキングロボット
(パレット自動倉庫からの)
ケース出庫用機械

「JPX日経インデックス400」に選定

2019年8月、投資家にとって投資魅力の高い会社で構成される株価指数「JPX日経インデックス400」銘柄の定期入替が発表されました。メディパルホールディングスは6年連続、グループ会社のPALTACは2年連続して選定されました。



格付け「A+」を取得

メディパルホールディングスは、企業が負う金融債務についての総合的な債務履行能力などを一定の符号によって投資家に情報として提供する「発行体格付け」において「A+」を取得しました。

格付情報（2019年6月18日現在）

格付機関名	格付
株式会社格付投資情報センター (R&I)	A+

「統合報告書2019」を発行

株主、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに向けて「統合報告書2019」を発行しました。

メディパルグループが、どのような成長ストーリーを描いているのかをご理解いただくためのコミュニケーションツールです。社長メッセージ、価値創造プロセス、2022メディパル中期ビジョン、ESG（環境、社会、ガバナンス）への取組みなどを掲載しています。

統合報告書をご覧ください

こちらのQRコードから
アクセスしてください。



https://www.medipal.co.jp/ir/library/annual_report/

メディパルDictionary

ALC	： Area Logistics Center	医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センター。主に、調剤薬局、病院、診療所に商品を供給
AR	： Assist Representatives	MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称
FLC	： Front Logistics Center	ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点
MR	： Medical Representatives	製薬企業の医薬情報担当者
PFM®	： Project Finance & Marketing	医療用医薬品の開発投資を通じて、製薬企業とともにリスクとリターンを共有するビジネスモデル
PMS	： Post Marketing Surveillance	医療用医薬品を発売した企業が、製品の品質、有効性、安全性を確認するために法的に義務づけられた調査
RDC	： Regional Distribution Center	化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センター。小売業に商品を供給

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社メディパルホールディングス	
本社所在地	〒104 - 8461 東京都中央区八重洲二丁目7番15号	
資本金	223億98百万円	
創業	1898(明治31)年10月8日	
設立	1923(大正12)年5月6日	
従業員数	13,807名(連結ベース)	
取締役	代表取締役社長	渡辺 秀一
	取締役副社長	長福 恭弘
	専務取締役	依田 俊英
	常務取締役	左近 祐史
	取締役	長谷川 卓郎
	取締役	渡辺 紳二郎
	取締役	糟谷 誠一
	社外取締役	加々美 光子
	社外取締役	浅野 敏雄
	社外取締役	昌子 久仁子
監査役	常勤監査役	平澤 利夫
	常勤監査役	神田 茂
	社外監査役	北川 哲雄
	社外監査役	豊田 友康
	社外監査役	佐貫 葉子
執行役員	主席執行役員	木村 友彦
	主席執行役員	鎗水 博司
	上席執行役員	川原 正範
	執行役員	京極 光弘
	執行役員	柳井 宣人
	執行役員	筒井 久
	執行役員	柏木 整
	執行役員	橋田 一夫
	執行役員	山崎 照弘
	執行役員	平賀 久夫

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

株式会社メディセオ(東京都中央区)
株式会社エパルス(広島市中区)
株式会社アトル(福岡市東区)
SPLine株式会社(東京都中央区)
株式会社MMコーポレーション(東京都文京区)
株式会社アステック(茨城県つくば市)
株式会社MVC(福岡市東区)
メディエ株式会社(東京都中央区)
株式会社エム・アイ・シー(東京都文京区)
株式会社トリム(神戸市中央区)
四国薬業株式会社(愛媛県松山市)*
株式会社よんやく(愛媛県松山市)*
中澤氏家薬業株式会社(高知県南国市)*
東七株式会社(長崎県佐世保市)*

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

株式会社PALTAC(大阪市中央区)

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

MPアグロ株式会社(北海道北広島市)
メディパルフーズ株式会社(札幌市中央区)

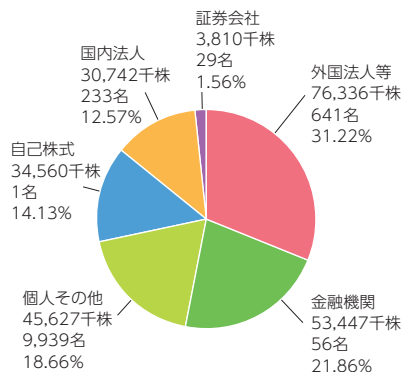
※ 資本・業務提携会社

株式の状況 (2019年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	900,000,000株
発行済株式総数	244,524,496株
株主数	10,899名

所有者別分布状況 (持株比率)

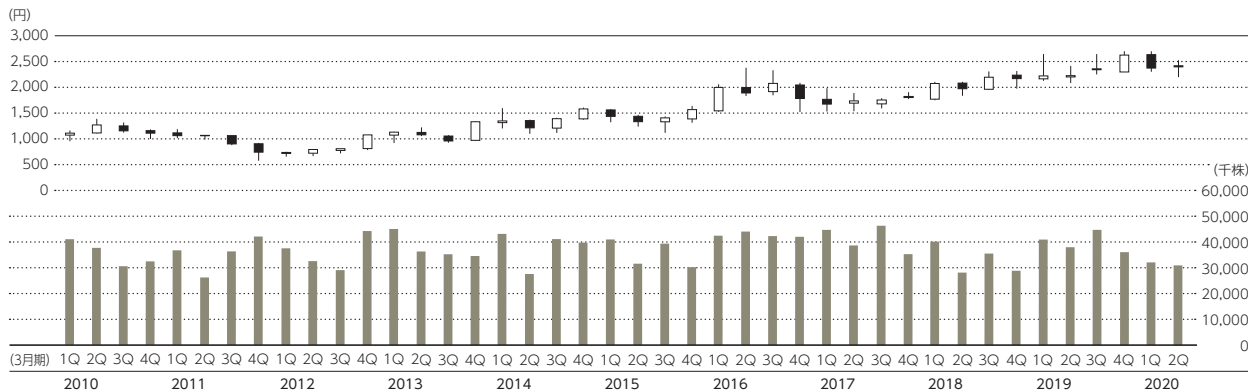


大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,642	5.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,223	3.92
MPグループメディセオ従業員持株会	7,033	3.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口)	5,845	2.78
小林製薬株式会社	5,074	2.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	4,257	2.03
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,274	1.56
大日本住友製薬株式会社	3,149	1.50
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,014	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	2,829	1.35

- (注) 1. 当社は自己株式34,560千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。
3. 持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

株価及び株式売買高の推移 (四半期足)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会基準日 毎年3月31日
	期末配当基準日 毎年3月31日
	中間配当基準日 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7459
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168 - 0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120 - 782 - 031 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(インターネット ホームページ照会先)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

マイナンバー制度に関する
お手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

株式関係事務におけるマイナンバーの
利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主さまからお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

証券会社の口座で株式を管理されている株主さま

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (左記の電話照会先)までお問い合わせください。

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社グループの計画、見直し、戦略などは、経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。

